

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2000-306864 (P2000-306864A)
【公開日】平成 12 年 11 月 2 日 (2000.11.2)
【出願番号】特願 平 11-115171
【国際特許分類第 7 版】
H 0 1 L 21/301
【F I】
H 0 1 L 21/78 M

【手続補正書】
【提出日】平成 16 年 4 月 26 日 (2004.4.26)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

個別の半導体パッケージを多数切り出し可能な短冊ワーク支持用のダイシング用フィルム張り渡し穴を設けた短冊ワークダイシング用フィルム取付フレームにおいて、上記取付フレームの輪郭とフィルム張り渡し穴を共に方形状にし、そのフィルム張り渡し穴の一辺の長さをダイシング用フィルム製作用の源フィルムである長尺フィルムの幅より少し短くすることを特徴とする短冊ワークダイシング用フィルム取付フレーム。

【請求項 2】

個別の半導体パッケージを多数切り出し可能な短冊ワーク支持用のダイシング用フィルム張り渡し穴を設けた短冊ワークダイシング用フィルム取付フレームにおいて、上記取付フレームの輪郭を円形状にし、その円形状取付フレームに設けるダイシング用フィルム張り渡し穴を方形状にし、そのフィルム張り渡し穴の一辺の長さをダイシング用フィルム製作用の源フィルムである長尺フィルムの幅より少し短くすることを特徴とする短冊ワークダイシング用フィルム取付フレーム。

【請求項 3】

前記穴に張り渡したダイシング用フィルムに、複数枚の短冊ワークを並べて支持させることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の短冊ワークダイシング用フィルム取付フレーム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 6
【補正方法】変更
【補正の内容】

【0 0 0 6】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明による短冊ワークダイシング用フィルム取付フレームには個別の半導体パッケージを多数切り出し可能な短冊ワーク支持用のダイシング用フィルム張り渡し穴を設ける。そして、上記取付フレームの輪郭とフィルム張り渡し穴を共に方形状にし、そのフィルム張り渡し穴の一辺の長さをダイシング用フィルム製作用の源フィルムである長尺フィルムの幅より少し短くする。

又は、上記取付フレームの輪郭を円形状にし、その円形状取付フレームに設けるダイシング用フィルム張り渡し穴を方形状にし、そのフィルム張り渡し穴の一辺の長さをダイシ

ング用フィルム製作用の源フィルムである長尺フィルムの幅より少し短くする。

又、前記穴に張り渡ししたダイシング用フィルムに、複数枚の短冊ワークを並べて支持させる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

【発明の効果】

以上説明した本発明によれば、請求項1記載の発明ではダイシング用フィルム製作用長尺フィルムを長手方向に沿って切断してダイシング用フィルムを製作し、そのダイシング用フィルムをダイシング用フィルム張り渡し穴に張り渡し、そのダイシング用フィルムに1枚又は複数枚の短冊ワークを接着することができる。そして、そのダイシング用フィルム張り渡し穴を例えば正形状にすると、従来1枚の円形状ダイシング用フィルムを製作した長尺フィルムの幅と長さの等しい正方形領域から1枚の正形状ダイシング用フィルムを製作し、その正形状ダイシング用フィルムに複数枚の短冊ワークを並べて支持させ、切断することにより、個別の半導体パッケージを従来より一層多数切り出すことができる。それ故、ダイシング用フィルムの歩留まりを向上させることができ、更にそのフィルムの短冊ワーク非接着領域を小さくすることにより、そのダイシング用フィルムの無駄な不使用部分を少なくして、製品を安価にできる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

又、請求項2記載の発明では、短冊ワークダイシング用フィルム取付フレームの輪郭を円形状にすることにより、従来の半導体ウェハー用ダイサーをそのまま使用できる。それ故、新たなダイサーを必要とせず、装置への投資を最小限にすることができる。